

客室コンシェルジュとして部屋やホテル設備を案内

3月14日開業の「変なホテル大阪 西心齋橋」に コミュニケーションロボット「RoBoHoN(ロボホン)」計17体を納入

シャープは、H. I. S. ホテルホールディングス株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：岩間雄二)が本年3月14日に開業する「変なホテル大阪 西心齋橋」に、コミュニケーションロボット「RoBoHoN(以下、ロボホン)」計17体を納入します。

本ホテルには、3階の全15室に「ロボホンルーム」が設けられます。各部屋に着座タイプの「RoBoHoN Lite」<SR-05M-Y>が設置されており、客室コンシェルジュとして活躍します。ロボホンが宿泊客の入室を検知すると、ウェルカムダンスを踊って歓迎したり、客室の案内をしたりします。また、宿泊客がホテルに関する質問をすると、ロボホンが回答します。今後、バージョンアップにより、定期的におすすめの情報を話しかけてくるようになるほか、モーニングコールやフロントの呼び出しなどにも活用いただける予定*です。

さらに、フロントデスクには「RoBoHoN」<SR-01M-W>1体が常設されます。宿泊客がロボホンに接続されたタブレット端末で、設備やサービスなどに関する各種案内メニューから詳しく知りたい項目を選択すると、ロボホンが音声で案内します。日本語、英語、中国語、韓国語の4ヵ国語に対応しているので、外国人旅行者にも安心してお使いいただけます。

■ 概要

納入機器 および台数	【客室用】RoBoHoN Lite <SR-05M-Y> : 16体(内1体は予備) 【フロント用】RoBoHoN <SR-01M-W> : 1体
設置場所	変なホテル大阪 西心齋橋 (大阪府大阪市中央区西心齋橋2丁目10-16)
運用開始日	【客室用】RoBoHoN Lite <SR-05M-Y> : 2019年5月15日 【フロント用】RoBoHoN <SR-01M-W> : 2019年3月14日

* ロボホンから話しかける機能やモーニングコール、フロントの呼び出し機能は、本年7月下旬より対応予定です。

● 「ロボホン」「Robohon」は、シャープ株式会社の登録商標です。

■ 設置イメージ



ロボホンルーム(客室)内の様子



フロントデスクでの館内案内の様子

●画面はハメコミ合成です。